旱害對策鐵壁の陣
新規豫算二千六百萬圓計上
逞しき更生の建設へ第一歩

南鮮一帶をはじめ江原、咸南北の九道における今年の旱害救濟對策に腐心の計畫を樹てゝゐた總督府では、本府査定による要救濟戸數と各道樹立の救助計畫案の内容とを睨み合せ更に小磯總督、田中政務總監の裁可を經て、このほどこれが救濟施設事業として新規豫算二千六百萬円、既定豫算三千萬円、合計五千六百萬円といふ實に尨大な事業費を計上することに決定、來る十一月から明年の五月までを救濟期間として早速本月中旬ごろから全鮮一齊に更生の建設第一歩を逞しく踏み出すことゝなつた、救濟事業費のうち三千九百廿萬円は罹災民(七割減收以上)の勞銀撒布事業費としてこれを土地改良事業に重點を置き、補足的に砂防林道々路などの工事を行ひ、こゝに戰時下食糧增産の重任を擔ふ半島農村を旱害から救はうとする恒久的施設の鑿隊を布くものである

穀倉半島に對して今年の旱害は天が與へた一つの試煉でもあつた、畏くも 天皇陛下には小倉侍從を半島に御差遣あらせられ銃後の民心とゝもに旱水害による罹災民の實情をも併せて御視察せられこゝに官民一同は聖慮の廣大無邊に恐懼感激、旱害克服はもとより各職域に粉骨碎身總力發揮もつて聖旨に應へ奉る覺悟をかためたのであつた

總督府當局では、さきに設けた臨時災害對策委員會で旱害對策の根本方針を定め、調査班は旱害現地を廣く踏査して現地の關係方面と緊密な連絡のもとその實情を具さに調査、さらに旱害罹災民救濟計畫の樹立、精神指導、旱害地不足食糧の調整などの對策資料をまとめて委員會を開くこと數回、去る九月廿一日には各道内務部長會議を招集していよく最後の旱害對策事業實施に關する方策を協議して、こゝに六千萬円に近い巨額の救濟施設事業費が決定されたのである

先づ救へ小作人
罹災地方には救助事業起す

旱害對策事業の對象となる救濟地域は水稻七割以上の減收面積を集計して一邑面百五十町步以上の邑面、または當該面積の二割以上の邑面、罹災戸數は要救濟地域で耕作する農家にして水稻七割以上減收農家に限定してゐるが、要救濟戸數も罹災戸數中真に救助を要する戸數に限り、救濟地域に住む純農業勞働者(雇員)の世帶、旱害によつて農業勞働をとられた者も要救戸數に加へることゝなつた

これら罹災民の救濟方策として罹災民には自力による奮起更生の精神を振起せしめ、隣保相助の美風による救助とさらに地主の小作人に對する救助をもつて救濟の第一義とするが、あとの要救助者に對しては極力これを勞力需要地に斡旋、罹災地方で適當な救濟事業を行ひ勞銀收入をもつて救濟するものである

さらに世帶の維持者にして老幼婦女、病弱者で救濟事業に就かれ得ない者には義捐金による直接救助を施すのである

これら罹災民の救濟事業は既定工事の振替と繰上、さらに土地改良事業、道路河川工事、砂防工事副業獎勵をはじめ、勞務斡旋、開拓民の斡旋を行ひ、公共團體の旱害對策經費の中、不足の資金に對しては政府の低利資金を融通しさらに罹災民に對する勞銀撒布事業となる

既定の民間工事で、資材資金難のため中止休業したものに對してもこれを調達融通を施しすべてこれに要する資材も當局で融通確保して救濟事業の賜金を期することになつた

かくて罹災地の需要食糧穀物に對しても確保と節用の方策を樹て、不足數量を調査し、輸移入の措置によつて食糧を調整、また燃料の補給にも遺憾なきを示してゐる

この外裏作麥の奬勵、罹災農家に對し明年の農糧を確保させるため、種籾と種麥を貸付ける一方、地主と小作人との間に隣保相助の精神を振起、銃後經親和による旱害克服の自助的方途を拓くため、小作料の減免、種穀の給與または貸付、罹災者生活資金の貸付などを獎勵、耕牛の保護、國税、地方税の減免、罹災國民學校兒童の授業料減免、學用品の給與、缺食兒童に對する糧食給與など罹災兒童にも救助の手がさし延ばされたのである

保健衞生面にも萬全が期されるが救濟事業工事による勞銀の支給に當つては現物給與、天引貯金も行はれ、罹災民の冗費を省き、あくまでも自力更生の災害克服に邁進させるのである、しかしてこの救濟撒布工事には各道、郡、邑、面の土木關係その他職員も積極的に協力、請負業者にはこれを請負はしめることなく邑面が直接行つてあくまでも罹災民本位の救濟事業にすることとなつた、かくてこれら救濟事業によつて旱害克服は完全に確立される一方、明年三月末に完遂される左の旱害對策土地改良事業工事によつて半島旱害防止陣はこゝに强化されるのである

一、小貯水池狀新設
一、蒲江、井戸及び貯水畓の新設
一、既設堤堰、洑の補修及改築(貯水池の嵩上浚渫等をふくむ)
一、水利組合及び既成土地改良區域地區水源施設等の改良補修事業
一、その他小規模土地改良事業の對象となる事業

當面の商工問題を語る
來阪の神田商工省總務局長

【大阪電話】商工省神田總務局長は重要物資第一次買上げ、近畿、中部ブロツク會議に出席のため七日來阪したが當面の商工問題に關し左の如く語つた

一、さきに森山日商會頭に内示した經濟會議所法原案は經濟會議所を道府縣單位として府縣廳所在地に置き、その他の都市に支所を設け、議員の銓衡委員會を設置して、これに當らしめるもので、同委員會の銓衡方式は推薦あるひは投票の何れによるも自由である、新經濟會議所は地方長官の監督下に置き日本商工會議所的存在は當分暫定措置として存置するが、權限委讓および賦課金の引上げなどは行はないことになつてゐる、この原案を中心として今月末には出揃ふ會議所の意見を聽取した上正式に決定する

一、倉庫業の統制については統制會社を設置するが、その統制會社を全國單一、地方ブロツク別の何れにするか目下考究中である

一、重要產業團體令による指定は第一次第二次で三十六統制、廿二統制令で、まだ充分といへず第三次には土木建築を今年中に指定すべく準備を進めてゐる

一、統制令の育成强化については評議委員會の積極的調査議を活用擴充して各業種にわたつて物動計畫に參畫させるのも一方法である、わが國の物動計畫は素材物動より生產物動へ、消費抑制物動より生擴物動へと急速な移行が要望されてゐる折柄、統制會の各部門における役割は大きいと思ふ

一、生擴の根本策たる勞務對策については厚生省と話合つた上で統制會に勞務配置の權限を附與したい、なほ商工省は他省に率先して統制會に單獨で權限を移讓すべく目下企畫院と折衝中でその實現は案外速いかも知れない

一、經濟團體の統合については着々實行に移すべく近く全國總合團體の總合會を準備する運びとなるだらう、この總合能力經濟團體は、全國區域内に存在するべき性質のものである

一、商工組合法の改正は總動員法を適用するか、あるひは來る議會に提出するか未定だが、これにある程度の權限を移讓し經濟行爲を營む地方的統制組合的色彩を帶びたものとしたい

一、重點主義生產を行ふためには現場の能率增進が不可缺であるから現場把握の見地から工務官の制度的增員を行ひ工務官制度の確立をはかるつもりである

財務懇話會平壤支部十日發會式

朝鮮財務懇話會では會員の增加に伴ひ、今回平壤に支部を設置することになり目下準備中であるが、十日前後に發會式を擧行の豫定である、なほ事務所は平壤商工會議所内におき、初代支部長には去月卅日附で退官となつた黄海道南川財務署長尾野後規氏が内定してをり支部開所と同時に九月卅日に遡及して任命する

産金の買入量著增
金鑛業の堅實移行を裏書

朝鮮產金買入會社では七日午前九時半臨時總會終了後產金振興支社會議室において全鮮出張所會議を開催、總督府から豐川產金課長以下關係官、鮮銀關係官ならびに廿九出張所長ら參集して產金買入量の增加をはかるため從來出張所においてとりつゝある方法に再檢討を加へさらに將來に對する對策を中心に協議を行つた、同社の金集中は至極順調に推移し設立當時案ぜられた從業員の事故は一件も出さず集中成績も昨年度は集中目標通りの成果を收めた、本年も前年に比すれば三割八分(前年九月同期比)の蓄增といふ好成績を示してゐる、この產金集中狀況の推移は最近における中小金山休止轉出の環境より見て金鑛業が從來の思惑時代を脫し漸次堅實企業時代に移行しつゝある現象として注目に値する

產金買入臨時總會 朝鮮產金買入會社では七日午前九時から產金振興支社會議室で臨時總會を開催、取締役村上[illegible]氏辭任に伴ふ後任選擧の結果、產金振興朝鮮支社總務部長内海[illegible]一氏が當選就任した

京阪、阪急兩電鐵合併 【大阪電話】北大阪交通調整の第一段階として急速な展開をみせつゝある京阪、阪急兩電鐵の合併問題は鐵道當局の斡旋によりいよく兩者間に正式交渉開始の段取りとなるに至つたので、阪急では六日臨時重役會を開き佐藤社長、岩倉專務、林、新海兩常務など出席、佐藤社長より政府の交通調整方針に從ひ鐵道當局より京阪との合併を慫慂された經過を報告

日本炭素城津工場近く操業

日本炭素では城津黑鉛工場はすでに完成し十一月から豫定生產の域に達する一方人造黑鉛工場の完成をいそいでゐたが天然黑鉛工場も建物は完成十二月から操業を開始の豫定である、製品は當分日本高周波に納入することになつてゐる

兩局長南方へ
大藏人事異動

【東京電話】大藏省理財局長山田克己ならびに熊本財務局長橋本朗藏兩氏の陸軍司政長官轉出に伴ひ大藏省では人事異動その他を七日附をもつてつぎの如く發令する、しかして理財局長の後任については差當り谷口次官が兼務することになつてゐるが、その後任については行政、機構改正に關する大藏省の改正の決定をまつて正式に發令されるはず

(水戸地方專賣局長)專賣局理事兼興亞院調查官川上爲治、任專賣局技師兼興亞院調查官(二等)補專賣局中央研究所長▲專賣局技師、橋永範一、任專賣局理事(二等)補廣島地方專賣局長▲(銀行局檢查課長)大藏書記官、坂口芳久、任財務局長(二等)補仙臺財務局長、榎谷享典、補熊本財務局長▲(廣島地方專賣局長)專賣局理事、北井幾夫▲(中央研究所長)專賣局技師、成田豐勝、依願免本官(各通)▲財務局長、山住克己▲熊本財務局長橋本朗藏、陸軍司政官(一等)に轉出(各通)▲大藏次官、谷口恒二、理財局長事務取扱を命す▲(特別銀行課長)大藏書記官、櫛田光男▲銀行局檢查課長を命す▲專賣局參事(水戸)藤原武、水戸地方專賣局長心得を命す

食糧營團理事長に 林、中野兩氏内定

【東京電話】近く設立豫定のもとに準備を急いでゐる東京府食糧營團理事長には今回宮城縣知事林信夫氏が、また大阪府食糧營團理事長には三重縣知事中野與吉郎氏がそれぞれ就任に内定、七日附をもつて退官發令される

"ボルガ"がよく象徴 ス市死守の意欲
スラブの民族性を 七田海軍少將に訊く

【東京特電】スターリングラードの陷落寸前が傳へられて既に久しい、ソ聯軍はドイツ軍百萬の猛攻を受けながら驚くべき頑張りを持つて孤城を死守してゐる、叩かれても、打ちつけられてもなほ且つ怯むことさへない、驚くべきスラブ民族特有の粘り、この侮り難いスラブの頑强について、第一次世界大戰當時ロシヤ駐劄帝國大使館附武官としてモスコーにあつた[illegible]海軍少將七田今朝一氏に次のやうに話して貰つた

ソ聯の 國民性はよくボルガ河の流れ二千六百キロといふとてつもない延長を持ちながら上流と河口の落差は僅か八呎足らずで流れてゐるのか湖水なのか判らない淀んでゐるやうに見えて流れてゐる、眠つてゐるかのやうに見えて決して眠つてゐないのがボルガの流れである、それが即ちスラブの民族性なのだ、ロシヤ語で"ニチヨー"(何んでもない)といふ言葉がある、ソ聯人は腕一本位斬り落されても『ニチヨー』といつて涼しい顏をしてゐる、どんなに重大な失敗をしても『ニチヨー』悲觀してゐると思つて慰めて見ても『ニチヨー』と却つて迷惑さうな顏をする、感情が表はれてゐるのかないのか見當がつかない程だ、ロシヤ人が『ニチヨー』を口にする場合は必ず今に見ろの反撥性、繰返す烈しい意欲を内心に藏してゐるのだ、そこに北方民族の共通する凜烈な戰士に吹き込まれた不死身の生命力がある、ドイツ軍のあれ程の猛攻を與へ續けるのに對しそこにスラブ人の不思議な抗戰力が生れて來るのだと思ふ

嘗つて ロシヤの西比利亞遠征軍がウラルを越えたあの日一五八一年であつた、そして西比利亞平原を東へ東へと軍を進めて寒氣に耐へ困難な地形を克服し、土人の逆襲を退けながら一一七一年遂にペトロフスクの占據によつて西比利亞侵略を完成する迄實に百卅年を要してゐる、旅順攻略でも皇軍が二〇三高地を占領するまでにはつらい犧牲を拂つた『スラブ侮り難し』とはこの時既に日本國民の腦裏にハツキリ刻み込まれてゐる筈だ、昨冬のモスコー、この間のセバストポリ攻防に示されたソ聯軍の死鬪等總て彼等の頑靱性を物語るよき例だと思ふ

我々は 百年戰爭だと言はれる大東亞戰を米英屈伏の日まで飽迄戰ひ拔かねばならぬ、我々はスラブ人の抗戰ぶりを見るにつけ他山の石として學ぶべきものが尠くない、大袈裟にいへばスラブの粘り强い民族性のみがス市を死守してゐるのだ、假令スターリングラードが落ちたとしてもスターリンは或は『ニチヨー』と囁くかもしれない

興業債券募集條件

【東京電話】興銀では六日政府保證第六十一回興業債券一千萬円の募集條件を發表した、利率四分三厘パー、期間十五年、拂込期日十一月二日、全額市場公募

南居北

英俘虜を蔑視した我が陸軍輸送船を米潜艦が襲擊、御丁寧にもこれを沈沒せしめたとは血迷へる仕業にしても皮肉すぎる▲まさか生きて虜を敵國に曝すよりか潔よく海の藻屑と消えた方がよからうといふ俘虜への思ひ遣りからやつた仕業ではあるまい▲結局英米の協同作戰が円滑を缺いでゐることを物語るもので▲いかに對日報復に狂奔してゐるかを示す以上の何ものでもない▲しかし沈沒海面が東支那海であり、敵の潛水艦が我が勢力水域内で蠢動をしてゐるといふことは紛れもない事實である以上▲この沈沒事件を簡單に片づけて了ふわけにはいかず敵の來襲に備へる自らなる構へを等閑に附してはなるまい▲伊潛水艦バルバリゴ號が米戰艦ミシシツピー型一隻を擊沈したのは御手柄である▲同潛水艦は今春もブラジル沖合でメリーランド型米戰艦一隻を沈沒せしめてゐる殊勳者である▲イタリーの海軍は弱い弱いとよく言はれたものだが▲それはむしろ英國の地中海艦隊が質においても量においても優勢だつたからである▲しかし今度の戰爭では伊海軍の活躍は依然華々しきものがあり▲特に我がソロモン海戰の戰果にはよほど刺戟されたらしく▲其直後に英米の東地中海艦隊を完膚なきまでに叩いて▲正に伊海軍は文字通り潮流に乘つた形である

秋の蠶繭線を行く
近藤特派員記

『長野縣』たらしめよ
"蠶業"拍車に一段構へ

江原の巻 江原道は山又山、内地でいふなら長野縣だ、それだけに蠶業の產繭高も全鮮第二位を維持してはゐる、さて規模に至つては到底及ぶべくもない、その規模を長野縣に否それ以上にも擴充させ得るとしたならば朝鮮農家の地位は文字通り大盤石である、尾見技師以下道農務課の技手達はこの意氣込みで八方道内に散つて指導督勵してゐる、蠶業獎勵の目標を狙いて見ると第一に經作の安定施策として桑田の肥培獎勵、飼育指導の徹底等が擧げられ、第二には出荷統制施策として出荷獎勵員の設置、共販場地域別出荷獎勵員の設置等があげられてゐる、記者は廿三日春川を振出しに、洪川、横城、原州と虎の出さうな山路の旅に蠶報國の現實を拾つて見た、木炭車のエンジンがギギギツと苦しんで前方に打ちのめされたとたんに車は止つてゐる、溫井轉千代、もう一時間以上もこのガタくバスにゆられて來たといふのに右も左も山ばかり、この山道にチゲに繭布を乘せてとぼくと共販所へ急ぐ白衣の老人が見られる『どれだけ採れました』『一貫目足らずでさあ』―行きずりの言葉はこれだけだがその中には今日の朝鮮農家のあらゆるものを含んでゐる、『もつと收入增を計つて蠶業の味を持たせなければ』―の言葉もはつきりして來るし、この老人こそ科學性のない朝鮮農家の生活的な影のやうにも感じられたのだ、指導者達はしつかりして頂いて欲しい、特に内地人の若い技手達がこんな山奥で農民とともに生活してゐる姿には頭が下つた、しかも蠶業に對する確固たる理念を摑んでゐる

江原道狀況 江原道秋蠶繭共販豫定數量一四〇、〇〇〇瓩 ◇天候不順のため五齡期中より膿病及び軟化病發生五割作の豫想

郡城横　技術を練れ　安井技手の談 本道の如きは最も蠶業に適した道です、今日の如く食糧第一主義の時でも山間地なるが故に桑の栽培に抵觸することなく、民度が向上して技術の進歩が行はれゝば衣料充足といふ大きな國家的見地に立つても、農家經濟から見ても―は勿論

忠北の巻 原州を經て忠北に入る、堤川の末野技手が『何しろ十六年間この商賣をしてゐて初めての不作ですよ』―と頭をかいたことで大體の狀況は推知された、こゝも出荷狀況までは例に依つて成[illegible]

養蠶家と共に闘ふ
指導官民、血の滲む働き振り

郡州原　積極的たれ　宮坂技手語る 『現に採用し[illegible]十五號、百八[illegible]品種は内地で[illegible]優秀とされて[illegible]で、朝鮮の技術を以て[illegible]』

[illegible]れに依る恒久的增收施設はありません、農村勞銀が上[illegible]などは馬鹿々々しいので[illegible]平氣で行はれでゐると[illegible]んだ間違ひです[illegible]◇農家が春秋優良な[illegible]も迎るやうになると[illegible]です、それだけで今日[illegible]家の平均年收益を[illegible]ふことに氣付く必要[illegible]

忠北の狀況 [illegible]

道内一般狀況 [illegible]

『[illegible]生產設備も御覽の通り欠伸して繭を待つてゐる狀態です、絹の需要面を考へ、同時に我々自身が今日直面してゐる時代を考へたならお互ひはもつとく働くべきです、今秋の不作をよき試煉として、捲土重來、改良すべきは改良し、戒しむべきは戒しめて明日の增產に努めたいと考へてあます』

油脂統制會 五日創立總會

【東京電話】油脂統制會の創立總會は五日午前十時より大東亞會館に開催設立經過報告ののち定款創立費および初年度收支豫算を可決しついで商工省より會長藤田政輔氏以下左の如く役員の任命があつた(括弧内は前職)

會長 藤田政輔(日本油脂社長)▲理事長 岡東英雄(帝國油糧統制社長)▲理事 松本伊織(朝鮮油脂社長)勝川鼎三郎(日華油脂取締役)片山直亮(日本油脂業務部長代理)福島正雄(東洋高壓合成取締役)丸山勉(財團法人中部研究所長)兒玉正雄(滿洲關西ペイント專務)三浦達雄(元日本ペイント參事)

文化
歌舞伎に就て【2】
田中英光

しかしそれは歌舞伎の幹を亭々と天に聳えさせる障害にはなつたらうが、非常に地深く根を張らせるには役立つたと思ふ。例へば、前記の歌舞伎脚本を通讀してゐて感じるのは、昔から殘つてゐて作者不明に近く、または作者がおぼろに判明してゐても、その後の多くの補筆で、現在上演されるものは、殆ど原形をとどめぬもので非常な名作も多い。例へば『田輪見時』なぞといふ芝居は、初代團十郎の頃からあつたといふがその頃のものには水入もなかつたし、筋ももつと單純で、河東節も這入らず、現在のものよりすれば非常にあつけなかつた樣である。

例へば、その後、三百年の時代の民衆が『助六』にみがきをかけ、現在の助六にしたと思ふ。化政度の爛熟な時代には、些か頽廢な助六が舞台に現はれ、明治の清新な時代には、些か活歴風な助六が舞台に登場するのであるが、助六そのもの、簡潔爽快な氣質、明朗快活な芝居の持味といふものは、その間でも變らなかつたと思ふ。

かく頗る臈い融通のきく演出が出來るといふ點は、歌舞伎の大きな特色であると思ふ。捨台辭なぞいふ舞台で合間合間に何氣なくいひ乘てる台辭なぞは、殆どその際の演出家、または昔ならば作者か役者の任意なので、その時代時代向の適當な言葉で、いつ迄もその狂言を清新なものとし、民衆的なものとすることが出來るのである。

この舞台の上と、見物席の融合といふ事は、歌舞伎の常に忘れなかつた事で、外國でも例のない事はないが外國のは一つの手段として行なふだけで、歌舞伎の如く本質的なものにはならなかつた。例へば幡隨院長兵衞で芝居の場がある。舞台上の舞台では、坂田公時が大だんびらを振廻し、軍兵二、三十人の頭をちよんぎつてゐる處である。そこに、旗本と町奴との喧嘩が始まる。彼等は見物席の中から飛び出して花道に驅上るのである。それを叱る水野十郎左衞門の家人も、食つてかゝる唐犬權兵衞も、ともに見物席にまじつてゐるのである。果ては亂鬪になり、白刃が飛び出すので、舞台の英雄坂田公時は青くなつて逃走し、更に見物席から、多くの町奴や旗本が舞台に驅け上るのである。こゝで丁髷に結つた昔の見物人なら、完全に自分達も劇中の一人なのを感じ、眼前の坂田公時に痛快なリアリズムを感じるのであらう。

『沼津』でも、十兵衞はわざわざ觀客席のなかを通る。歌舞伎獨得の花道とは、正に舞台と觀客の心をつなぐ最も效果的な橋なのである。觀客が劇を見物しながら、すでに劇中の人間になつたと感じるとき、その劇がいかに迫眞力を增すか、說明する迄もないと思ふ。

不連續線
賣心買心

彈丸切手は人氣者である。街頭にまで進出して、行人に呼びかけてゐる係員の熱心も認めてよい。『濟みませんが、先月の分が當籤してゐるかどうか、ちよつと調べて頂けないでせうか』窓口に近づいた一人の老婆へ『それは局で聞いて下さい』と、また、鈴を振りながら呼び續ける係員だつた。局へ行くには些か[illegible]を伴ふ。手輕に買へるのが街頭なら、また、手輕に教へて貰へるのも街頭であつたら、どんなに彈丸切手は人氣を增さう。結局、親切の問題である。

『綠陰』福田豐四郎畫伯 日本畫展より……十一日まで丁子屋

第一樂劇隊
◇全滿披露公演……朝鮮演劇文化協會傘下の三樂劇團を統合して今回"第一樂劇隊"を組織、朴丹陽、高藤嶺、黄愛心等四十名を網羅し豐川鴻方氏が統率して來る十七、八日頃から全滿各地へ披露公演に出發するが京城公演は明春正月になる模樣である

悼綠童子
高濱虛子

發頭を留て顯ち得し秋の風
×
颱風に荒き雨そひ訃至る
×
唯今電報を見る。弔電がうてない爲め不取敢葉書にて。

婦人だより
☆友愛セール　京城友の會では十二日(月)長谷川町基督教青年會館で恒例の友愛セールを開催
☆京城家政女塾園遊會　十日(土)が創立滿一周年記念日に當るので祝賀と鍊成を兼ねた園遊會を退溪院で行ふ

商業及法人登記公告

○株式會社支店設置(支店) 昭和拾七年八月拾日當管内ニ支店ヲ設置シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス 商號 大東實業株式會社 本店 京城府黄金町壹丁目一六七番地 支店 仁川府海岸町一丁目九番地 [illegible]

大詔奉戴日

烈々たる氣魄で臨め
雜談常會に墮するな

米英撃滅の大詔を奉戴して茲に十ケ月、銃後一億は總力を結集して各職域に挺身、愛國班でも毎月八日の町常會には早朝から班員が集合、征戰完遂の決意を新たにして申合事項の遂行を期しまた十日夜の班常會には隣保相助、班運營を協議する和やかな家族會議を行つて來てゐるが、更に大詔奉戴日や班常會に一段と氣魄を籠め眞劍に工夫改善の努力が必要ではないか――と七日總力聯盟では次の通り二千四百萬班員に新たなる決意を要望した

大詔の下、總力を結集して臣道實踐の決意を昂揚する大詔奉戴日常會に就ては第一線指導者のたゆまざる努力に依りその出席率、整列狀況等も概ね良好となり遲刻早退者等漸次減少しつつあることは同慶にたへない所であるが、更に常會の全體を通じて一段の氣魄を要望する次第である、卽ち指導者の號令は勿論のこと國歌並警詞奉誦、萬歲奉唱等に就ても今一段と魂を打ち込み明朗眞劍に烈々たる氣魄をもつてやつて頂きたい、なほ十日の夜の愛國班常會に就ては開備の時刻は特別の支障なき限り變更せず全鮮一齊に開催しラジオのある處に於ては講話放送は必ず聽取して頂きたい、要するに常會は總力運動に魂を打ち込むところで形式に流れたり徒らに冗漫にして且つ批判的雜談的な常會におちいらない樣この際全愛國班に於て更に一段の工夫改善を望む次第である

護らう譽の家

けふ町聯盟常會申合せ

軍人援護強化運動週間は沸き立つ感謝と燃える感激につゞられけふ大詔奉戴日の八日を最後として六日間に亙る赤誠の行事を終るけふ奉戴日町聯盟常會では十月の三つの實踐の一つとして〝軍人の家を護らう〟と國民實踐の道をかたく誓ひ傷痍軍人や譽れの出征軍人家族、さらに大東亞建設の礎石となつた戰歿將兵遺族を援護する國民的義務完遂に邁進、赫々たる第一線戰果の感謝を銃後に結んで一億の總立ちの大東亞建設へ逞しい進軍をつゞけるのである

國技振興へ基金寄附

竹原二三氏の美擧

國民武裝を目指して京城師團兵務部が主體となり、銃劍道振興會京城聯合支部を結成してから三旬、銃劍道の普及は益々旺盛となり各地の分會も續々結成されてゐるとき、京城府青葉町農具製作所竹原二三氏は振興會の趣旨に賛同し國民の一人々々が誰でも銃劍の道に進むやうにと七日京城師團兵務部を訪れ振興會京城聯合支部の基金へ金二千円を寄附した

同氏は防具がなくても竹槍などで銃劍道をやつてゐる內地の熱心さを見て感激し半島でも大いに普及されるやうにと基金の寄附を申出たものである

『靖國の繪葉書』完成

新祭神の遺家族に贈る

【東京電話】靖國の新祭神遺族に贈る恒例の『靖國の繪葉書』が出來上つた、我軍には大日輪に匂ふ絢爛たる櫻花をあしらひ東條首相が題字を揮毫、內容は北蓮藏畫伯の『英靈靖國に還る』と中村研一畫伯の『コタバル敵前上陸』を劈頭にジャワ沖海戰、豪洲猛爆撃、ラングーン攻略、コレヒドール島敵前上陸、珊瑚海々戰、ソロモン海戰から遠くダッチハーバー猛攻に至る大東亞戰爭の熾烈な戰鬪、支那大陸各地に奮戰する陸海將兵の姿とゝもに岩田專太郞、志村立美、宮本三郞、寺內萬次郞畫伯ら一流の十六揮繪畫家によつて描かれ廿五頁、色刷りの豪華本、遺族へのよき贈物である

ラッシュ時を狙ふ〝足〟の再訓練

十二日から十六日まで

京畿道で實施！

交通道德の涵養によつて事故の絕滅を期さうと京畿道では來る十二日から五日間、毎日午前八時三十分から同十時三十分迄と午後三時卅分から同五時卅分までの二回に亘り自動車、電車を初め一般步行者の交通訓練を實施、戰時下における銃後交通の完璧を期することになつた

訓練期間中は電車、自動車など高速度交通機關の規定速度の嚴守を始め一列勵行、步行者の訓練、車輛の左側通行の徹底と步行訓練を行ふ、交通の緊密敏和に資する『實施方法』としては管下各署長を部隊長とする交通訓練部隊を編成する外騎馬隊を動員して指導取締に當らせるもので違反者があれば一定の場所に集め處罰又は說諭を與へることになつてゐる、また期間中は映畫、講演會、標語、ポスター等の行事を行ひ交通道德の昂揚に努める

文展入選發表日

【東京電話】美術の秋を飾る第五回文展の入選發表は左の通り――【九日】第三部＝彫塑【十日】第二部＝洋畫【十一日】第四部＝工藝【十二日】第一部＝日本畫

比島戰跡を聖地に

【マニラ七日同盟】皇軍將兵が血の血を流して取り得たバタアン、コレヒドールの戰跡を大東亞戰爭の聖地として永遠に記念し英靈の冥福を祈るため中部ルソン日本人會ではバタアン、コレヒドールを一瞬のもとに收めるマニラ市內の海岸地域に顯彰所、あるひは招魂社を創建、在留民の崇敬の中心たらしめるため目下準備計畫を進めてゐる

またバタアンその他各地に戰跡保存、忠靈塔創建などを行ふ外年中行事としてコレヒドール陷落日たる五月八日には例年盛大な招魂祭を執行、また在留邦人抑留の日を卜して點呼、分列行進など、居留民一般の記念訓練を行ふことゝなつた

映畫我等今ぞ征く近く製作

傷兵制度に對する心構へを指導しようとの意圖の下に總力聯盟では映畫〝我等今ぞ征く〟二巻の製作を企畫、曲本內野會、演出村基宋、撮影瀨戶明の各氏によつて近く製作を開始する、封切は十一月三日の豫定、なほ總督府、朝鮮軍でも同映畫の製作に多大の後援を寄せてゐる

學童の團栗拾ひ

農林省通牒

【東京電話】從來無駄に捨てられてゐた團栗を國民學校兒童の手で集めてアルコールやタンニン、プタノールなどの原料として活用しようと農林省では十月から十一月の團栗の落ちる季節を狙ひ七日各地方長官宛通牒を發し農村の國民學校の協力を依頼した

〝文化〟を通じ日滿親善

梅若三郞氏渡滿

【釜山電話】滿洲建國十周年記念使節として日本能樂界の巨匠梅若三郞氏は七日夕釜山上陸〝一行〟ひかり〟で北上したが、渡滿に際る――

◇……今回の渡滿は三度目に當るわけであるが、滿洲には既に卅年前より能を通じて日滿文化交流を圖り、既に滿洲內には梅若流が盛んな活動を續けてゐる、大東亞共榮圈文化建設に寄與するため今後ますます活潑な運動を展開したいと考へてゐる

◇……新京では十日の式典日に『猩々亂れ』『土蜘蛛』二段を舞ふことになつてゐる、十一日は一般にこれを公開、更に奉天大連、撫順を經て十六日歸る豫定である『猩々亂れ』は大正天皇御大典の時、宮中で舞うた能であるが

◇……『土蜘蛛』も明治天皇が京都より東京に遷御遊ばされた時先代が天覽の光榮に浴したもので前後五回に亘つて天覽に浴してゐる由緖深い舞で今回の建國十周年式典には相應しいものと考へてゐる

軍人援護週間第五日

兒童へ無言の感化

靖國の妻教壇に更生

夫を、兄を、弟を御國の楯に捧げた靖國の妻や遺族たちのために女教師養成機關の京城女子師範から本年巣立つた二人の未亡人と四人の遺族は、溫い援護を感謝しながら清き教壇に雄々しくも教への道に勵んでゐる、その中の一人であつて、この少年達の中から偉い兵隊さんを作るのです〟と夫の功を語らぬ貞淑な靖國の妻はいま熱心に教壇に立つてゐるのだが『たゞありがたくて……』と援護の眞心る故城穗破少尉の未亡人城澪子さん（ニ）を奉職先の京城光熙國民學校に訪へば聖なる教服に身をつゝんだ城先生は陽ざしの明るい教室で男子二年生に讀方のお稽古をしてゐた、〝勳もなく死んだ夫に代つて、この少年達の中から偉い兵を塗つてゐるのだ、口數の尠い城先生への質問をさけて同校の今野教頭先生に訊いてみた

感心な方です、朝は他の職員よりも卅分早く登校して夕は自分の仕事が濟むまでは家に歸りません、私共は城先生を物質的な待遇をといふよりはむしろ精神的に包むといふ方面に力を注いで少しでも心の負擔を輕くすることに努めてをります、先生は極く靜かな中にも高い氣品とさすがは軍人の妻らしい迫力を見せてヨイコドモの指導にあたつてゐますが、これこそ兒童への無言の感化をおよぼすものとして學校でも有難く思つてゐます、城先生は家のことなど一言もいはず、たゞ〝何のてがらも樹てずに死んだ夫に代り一生懸命に働きます〟と謙遜しながら精勵されてゐますが、私達はその心掛けの氣高さに感激しつゝ先生母子の上に之以上の幸福が來るやうに心を配つてをります

【寫眞】＝（上）教鞭をとる城未亡人（中）右から加藤、永本兩未亡人（下）第一、梨花兩高女の陸軍病院慰問

新生の道へ精進する二女性

學窓で教師の道を修める身であるが、皇國の華と散つた夫の後を繼いで我が愛兒を育成する凜々しい軍國の女性、あるひは父や兄を護國の御楯として捧げた乙女達が、今は溫い學校當局の援護の下に強い日本の女性として新生の道に只管なる精進を續けてゐるが、その中の二人の未亡人を『軍人援護週間』の五日目に同校講習科二組に訪へば永本かほるさん（二）と加藤富美子さん（二）は交々語る

二人は支那事變勃發の直後夫を大陸の戰線に送り、永本さんは現在國幼稚園に行つてゐる長女幸子ちやん（七）を、加藤さんは國道幼稚園に通つてゐる長男欽也君（七）を抱いて眞摯な生活をつゞけながら銃後家庭を護つて來てゐたが、加藤さんは昭和十二年、永本さんも相次いでその主人を皇國の散華と捧げ夫なき家をしつかりと守り通したのであるが、今春になつて次代の兵隊さん育成に努めねばなりませんと同校に入學、心身共に學術の修練に勵んでゐる

梨花高女生陸病を慰問

軍人援護週間第五日目の七日京城第一、梨花兩高女の代表生徒約百名が仲良く京城陸軍病院を訪問、ほとばしる乙女の純情を捧げて傷病に伏す勇士を心から慰めた

高野、佐藤兩教諭に引率されて午後三時十五分病院に到着した乙女達は感謝の眞心を籠めた手製の人形、花束、煙草、慰問文などの數々を贈れば、感激した勇士達は不自由な身體を起して有難うを連發、和やかな慰問風景を描いて同三時三十分引揚げた

メガネは村木

本社寄託　旱害義捐金

七日現在

隣保相助の同胞愛に燃えて朝鮮社會事業協會が烽火をあげた旱害罹災民救濟、八十萬円目標の義捐金募集は、發表と同時に果然各方面に大きい反響を呼び起し、本社取扱ひの義捐金は七日現在で累計金四千百四十二円五十錢に達した

三千圓　京城日報社

五百圓　京城日報社從業員一同

二百圓　京城府岡崎町七ノ七　高宮太平

二百圓　京城府清雲町

七圓五十錢　京城師團第五將校官舍將校御一同

百圓　京城府本町一丁目ミコニコ食堂　松永大吉朗

十圓　京城朝鮮水利組合聯合會

十圓　德山隆一、豐安敬裕、下舞靜善

十圓　元山府三和物產商會永川季善

百圓　仁川府本町四丁目二　只左京一

十五圓　京城飛行場食堂內森田浩同

累計金四千百四十二圓五十錢也

地下に挑む逞しき〝增產譜〟

我等戰士に力あれ

增產の陰に數々の美談

【三】

戰ふ半島の地下資源の唸りを聞く威鏡北の地は、いまや無數の鑛山から發する發破の響きで全鮮一の鑛產地としてその面目を新たにしてゐる、卅五年の鑛史をもつ北の生氣嶺炭山、雪嶺な部分で名を成す南の利原鑛山、八重の溪谷を越えた中に新興の息吹きをする龍陽マグネサイト鑛山……等々いづれもが同じ鶴嘴を握る山腹に打込んでザクザクと岩を碎いてゐるのだ、記者は各鑛山を步きながら〝生產〟の樣相を直接見聞する機會を得た、以下はその報告記である

◇神祕以上の力

〝無限の寶庫綫の坑道、火藥を浴びて往くわれら、我等戰士に力あれ〟

山の歌が遠くで聞える、坑へ急ぐ人達を送るため部落の全員が唄を歌つて坑口でうたふのだ、まるで兵士を送るやうにかれ等は每日同じことを新しい氣持でやつてゐる夕の出坑にも同じ歌はうたはれ、けふ一日の無事と增產を祝ひあふのだが、この細やかな組織の中にその日その日の生活を營み、あふ山の人達にはときとして神祕以上の力を出すことがある、八月五日のことだつた、この週一帶を襲襲した大豪雨は忽ち山の洪水となつて雨水は瀧のやうに坑道へ氾濫した

〝三番坑が出水だ、危い全員山頂へ上れ〟

危險を感知した監督はマイクを通じて坑內に呼びかけた、深い深い坑底から斜坑から二列になつた坑夫たちは静かに騷がず腰から腕へ打ち寄せる濁水の中をいつもの通りの順付で坑口へ向つた

〝一人、二人、三人、四人……あつと四人足りないぞ〟

それまで平靜であつた監督の顏に一瞬不安の表情が覆つた

『オーイ、〳〵』

聲を限りに坑へ呼んでみた、だが應答はない、電報で所長も馳せつけた、鑛山に働く全部が集つて來る、歸らぬ四人の家族も泣き濡れてやつて來た、俄に山は騷がしくなつた

『見込みはどうでせうか』と心配氣にのぞく受難者の、家族達へ誰も彼もが視線を伏せた、駄目なのだ、忙しく動員された技師の手に乘つて ゐる我には山の全部のポンプを動員しても一ケ月はかゝらうといふのだ、そのとき一人が叫んだ

『ヨシ俺達で救つてみよう、水を出すんだ』

排水作業は始まつた、呼吸を合せて十數本のパイプは一齊に坑の中の水を吸ひ上げた、朝から夜まで徹夜の救助作業はつゞけられた、一寸々々水は退く、その度每に水の深さを測る幾人かの坑夫が深い斜坑へ降りて行つた、七日目、水は腕までになつた

〝ヨシ明日は大丈夫〟

腰までなら足さぐりでも行けると坑夫たちの心には固い〳〵決心がついた、八日目十數名の坑夫たちは先を爭つて危險の去らぬ坑內へ突進した、充滿するガスは忽ちその七、八人を仆した、だが第二、第三の救護隊が繰出される、〝生きてゐてくれよ〟と心に念じながらあの闇坑、この斜坑を探し求めて友を呼ぶ悲痛な聲は三番坑內に溷つた、坑の奧まつた小高い斜坑に生命の最後の灯をともし續けてゐた四人は救はれたのだ、ワッと揚る勝利の勝鬨、所長の目にも熱いものが光つてゐた、これは利原鑛山の美談である

◇麗しい夫婦愛

これは生氣嶺炭礦での出來事だが坑道に働く夫に餘分の食糧を與へようと密かに粥をすゝつて飢をしのいだ貞節な妻があつた、この妻の哀れさに泣いた所長は米の增配を駐在所へ願んだ、巡查もなき伴ら『何とかしませう』とさつそく手續をとつたのであるが、その間一週間その妻は遂に焦げついた米に湯をかけてすゝりつゝあつたのだ

『夫は大切なお國の寶もの』と妻はまた氣持を訴へて人を泣かせたが、增產のかげにはかくも麗しい夫婦愛も生れてゐる、しかし鑛山はこんなじめ〳〵した生活ばかりではない、どきとしては山の傳說に自らを英雄化して爆笑を振り撒くこともある、龍陽マグネサイト鑛山の附近、檢德山はその昔加藤清正が銀奉行を置いて銀二朱を秀吉に獻じたといまでも山の人人に信ぜられ、白銀によく似た白いマグネサイトを掘り出す山の人本勝所長こそ加藤清正の再來だと坑夫達は思つてゐる、ドンと鳴る發破の音をきつかけにシャベルを手に携へた山の戰士達は一齊に山腹へ突撃する、深い谷、高い崖を征伏してまた消えやらぬ硝煙の中を勇ましくも踏越えて行く男達は

『俺は加藤清正の家來だぞ』『清正は强いのだ』とシャベルを揃ふのだ『清正は强いづてなあ』『どれだけ强いのだ』『これ位强いさ』ガツンとシャベルを打ち込んで岩盤をうかしてみせる、あとは他愛のない哄笑で乳色の岩つぎつぎと掘起されて行つた、增產の中に彈む爆笑、山には人の知らない世界があるのだ

【寫眞】＝利原鑛山の坑道入口

南の子供に嬉しい贈もの

情報局のエホンニッポン創刊

【東京電話】南の國の坊ちやん嬢ちやんへすばらしい贈物、お待ちかねの『エホンニッポン』が出來上りました、情報局が南方圈諸地域の第二國民啓發宣傳のため、日本出版文化協會に委囑して作つたもので、十月號はその創刊號である、委囑をうけた同協會は同會內に『南方繪本刊行會』を設置し情報局第二部第二課長吉橋海軍中佐、同三部第三課長廣瀨節男氏らを編輯顧問に同協會八田主事が中心となつて鋭意編輯にあたり、十月號は『ニッポンノノリモノ』と題して飛行機、自動車、汽船、地下鐵、登山電車などの乘物を中心として紹介したB五版十六頁五色刷りの豪華版でマレー、泰、ビルマ、アンナン、タガログ（ヒリッピン）の五ケ國語で解說し、片假名も共用してそれぞれ一萬部づつ分刷した上近く南方各地に送られる

第一回半島音樂競演會

朝鮮音樂協會では純粹音樂の再認識を促して米英調の浮薄輕佻な音樂の一掃を期するため半島音樂界の精鋭をすぐつての第一回音樂競演會を開催することになり準備中であつたが、このほど次のやうに種目、日程等の決定を見た、なほ今回は全鮮に魁けて音感競演も實施するが、これによつて第二國民たちに鋭敏な聽覺を持たせて將來機械化兵團としての素地を作らすことになつた

【種目】▲洋琴▲聲樂▲提琴▲音感

【日程】【一般音樂競演】＝第一豫選（十一月十日午前十時）▲同第二豫選（十一月十日午前十時）▲同決勝（十二月十一、二兩日午後六時半）府民館大講堂

【音感競演】＝▲第一豫選（十一月十一日午後三時）▲第二豫選（十二月十日午前十時）▲同決勝（十二月十日午後三時）府民館中講堂

父毛利原三（元義州郡守舊名李源圭）儀豫而病氣療養中の處本日六日午後零時五十分京城府新設町二七二ノ八號自宅に於て死去致候間茲に生前中に於ける辱知諸位に御通知申上候

昭和十七年十月六日

子　毛利明元　毛利□

當社金田專務取締役母堂張伊殿儀豫而病氣療養中の處十月六日午後二時御自宅忠南長項邑本町一丁目百二十一番地（自宅）に於て御逝去相成候間此段謹告仕候

追而葬儀は八日午後二時執行せらるゝ事に相成候

昭和十七年十月六日

長項水產株式會社

父張錫佑儀告別式の際は御多用中にも不拘御會葬被下深謝仕候不取敢以紙上御禮申上候

十月七日　仁川府京町二〇八

嗣子　張□之

親族總代　池田基光

友人總代　崔承淳

第七期貸借對照表（昭和十七年八月三十一日現在）

鐵原酒造株式會社

（貸借對照表・役員就任の公告、細字につき判讀困難）

京城日報 夕刊
第一萬二千五百四十號　昭和十七年十月八日（木曜日）　皇紀二千六百二年
（明治廿九年八月十日第三種郵便物認可）

西阿南西の洋上 米戰艦ミシシツピー型を撃沈

殊勳の伊潛艦 再び大戰果

【ローマ特電】（六日發）[illegible]アフリカ沿岸に作戰中のイタリー潛水艦[illegible]上五百九十四キロの地[illegible]に四回に亘つて魚雷を[illegible]なほこの殊勳のバルバリゴ號潛水艦[illegible]を樹てゝゐる[illegible]十二門、五インチ高角砲八門その[illegible]

[illegible]の大戰艦を撃破されたことは聯合國海軍にとり甚大なる打撃であると述べてゐる

伊國民意氣軒昂

[illegible]

【寫眞＝米戰艦ミシシツピー號】

知事異動發令

【東京電話】内務省では内藤茨城縣知事の南方司政長官轉出および宮城縣知事ならびに中野三重縣知事の[illegible]官、警察入りに伴ふ内務、農林および厚生の各省にわたる交流人事を決定七日發令

任宮城縣知事（二等）　德島縣知事　辻山治平
任德島縣知事（二等）　農林省資材部長　野田清武
任[illegible]　厚生省衛生局長　加藤於兎丸
任[illegible]　[illegible]援護局長　曾我梶松
任三重縣知事（二等）

内閣辭令（六日附東京電話）

厚生省生活局長　尾　弘吉
任厚生省衛生局長（二等）　神祇院總務局長兼造神宮使廳[illegible]　石井政一
任厚生省生活局長（二等）　對滿事務局事務官　高辻武邦
任軍事保護院援護局長（二等）　[illegible]　[illegible]信夫
依願免本官（各通）　三重縣知事　中野與吉郎
專賣局技師兼朝鮮總督府專賣局技師特許局技師　福永範一
任專賣局理事（二等）　大藏書記官兼銀行檢査官農林書記官　坂口芳久
任財務局長（二等）

リスボン丸（陸軍輸送船）沈沒

[illegible]同船には最後に殘るアイダポであらう[illegible]と推論し、何れにしてもアメリカ海軍は日本海軍に相當多數の戰艦を失つてをり今また三萬三千トン[illegible]

[illegible]に一部の陸軍將兵が同船して[illegible]た、急報に接したわが救助船[illegible]名は附近の島に避難してゐる

米潛艦の盲撃

英俘虜千數百を葬る

[illegible]五十二名に達した旨發表した

食糧の需給對策

絶對量は必ず確保

田中總監 力強い言明

[illegible]に問題ありとすれば、外米及び雜穀の輸移入において確保し、いさゝかの不安なからしめることゝなつた、田中政務總監は七日の記者團との會見にて、右に關しその根本方針は全國民に對する糧食配分を適正ならしめることにあり、絶對量の確保はいかなる手段をもつてしてもなすと言明し、この點に不安があれば米穀の内地移出中止は勿論、外米の輸入、雜穀の輸移入に萬全の策を持つことを示した、さらに鮮内畑作の増收に努力が相當努力に集中せしめられるべきであるとしてその方向を明かにし「何んとかしてやつて行けるといふ確信は持つてゐる」との力強い說明をなしたとは當局の明米穀年度における需給見透しに不動の施策がすでに成れるを示したものとして注目される、そのため糧食の管理態系が全面的に驟當と間然なきまでに強化飛躍せしめられることは必至となつた

行政簡素化樞府審査委員會

【東京電話】樞府の行政簡素化諸勅令案の第十回審査委員會は六日午後一時より樞府事務所に開催樞府側より原、鈴木正副議長、潮田委員長以下各委員、政府側賀屋藏相、森山法制局長官、谷口大藏次官その他關係官出席前回に引つゞき大藏省關係諸勅令案の審議を續行し四時二十分散會した、次回は七日午前十時續行される

國府への飛行機讓渡式

【南京七日同盟】國民政府に對する飛行機讓渡式は七日午前十時よりわが方〇〇飛行部隊長、中國からは劉軍事委員會總參謀長、任海軍部長、松井最高軍事顧問以下關係軍官民多數參列して擧行、まづ劉參謀長より中國側を代表して祝辭を述べ、ついで姚航空署長と昭和通商山内南京支店長との間に厳かに讓渡式が行はれた、この時式場上空には新生中國空軍が翼を連ねて飛來し祝意を表し、同十一時讓渡機〇〇機はわが〇〇部隊の勇士の手によつて鮮かな試驗飛行を行ひ同十一時半無事式典を終つた

張鼓峰を遠望 英靈に默禱

小磯總督 國境最北端へ

【雄基にて井上特派員發】北鮮視察第七日、端麓大和旅館に一泊した小磯總督は午前八時宿舍を出發、[illegible]田郡守から管内狀況の報告を受けた後、阿吾地灰岩にある朝鮮石炭工業會社工場を視察晝食後、成林[illegible]で山頂に登り約三十分間に亘り〇〇部隊長から張鼓峰一帶に亘る第一線陣地の說明を受け歸路に着いたが、途中供養道過の際は北邊鎭撫の華と散つた英靈に心からの默禱を捧げた、かくて雄尚漁港、雄基港を視察しつゝ國境最北端の巡視を終へ午後五時大和旅館に入つた、なほ八日は一路朱乙に向ひ金田旅館に一泊の豫定

東亞電信協議會は來秋京城で開催

深川遞信局監理課長歸任談

【釜山電話】東亞電氣通信協議會に出席のため東上中の遞信局深川監理課長は七日朝釜山上陸、同日は地方遞信局に立ち寄り八日朝急行〝大陸〟で歸任するが、機上で次の如く語つた

◇……會議は九月廿八日から十月一日まで四日間ぶつ通して行はれ内地、朝鮮、台灣、北海道、樺太、外地から滿洲電電、蒙疆自治政府、蒙疆設備會社、華北電電、華北電氣通信、國内の五放送協會及び華北、華中の廣播傳台、國際電氣通信工事會社側と東亞圈内の十九團體が出席、中央側から遞信次官、電務、工務兩課長が臨席して愼重協議した結果、本年まで四回に亘つて電信電話協議會、電氣通信業務會等別個の行動が行はれて來たのを、今後は兩會議を統一して東亞電氣通信協議會とし強力なものに組織替へし、來年から第一回として新發足することによつて東亞共榮圈内電氣、通信網の擴充を圖ることに決定した

◇……會議の内容に就ては話せぬが、共榮圈内の暗號統制その他雜多の連帶業務の円滑を期する統制を圖つたのである、今回の會議に朝鮮として提案した東亞電信協議會は來年九月中旬京城において開催されることに決定した

◇……國債、債券の消化や貯蓄は内地に比べて朝鮮は遙かに優秀な成績を示してゐる、指定郵便局長の立替が多少あるが無理消化もなく一般の協力により順調に進んでゐる、釜山地方遞信局管内の南鮮三道は旱魃の被害が相當多いやうであるから各道の被害實情を斟酌して同局本年度消化豫定額一千五百五十萬円を再檢討の上、多少減額する豫定だが昨年の消化實績四百四十萬円を遙かに越えた數字であらう

シドニー強襲特別攻撃隊四勇士の慰靈祭（鎌倉丸船上にて二日送還）

獨ソ死闘、一段と激化

ス市戰線に早くも初冬の兆

【リスボン六日同盟】スターリングラード戰線からの戰況報道を綜合するに、既に殆ど廢墟と化した同市内においては獨ソ兩軍の間に依然たる死闘が繰返され戰闘はますく激烈の度を加へるばかりである、既に同戰線には初冬を思はせる冷氣が感ぜられるやうになつたと傳へられるが、獨軍の作戰は本格的な冬が到來するまでに遮二無二スターリングラードの完全占領を目指しつゝあり、それだけにこゝ數日來の攻擊は一段と熾烈の度を加へ、六日には同市工業地帶に對し空陸相呼應する大突擊を敢行し赤軍は同地區において再び若干の後退を余儀なくされた、しかし一方スターリングラード救援のため同市の南西、西方において相當の進出を示し、獨軍左翼部を著るしく脅威するやうな態勢となつた、北西兩方面からする赤軍反擊はことにその北方において大部隊の落下傘部隊を使用してしきりに赤軍の後方を攪亂しこの方面の戰闘も一段と[illegible]となつてきた

フレ族蜂起

印度騷擾續く

【リスボン六日同盟】ボンベイ來電による印度騷擾狀況左の通り

【ボンベイ州】四日ボンベイ市で開催された印度新聞社主催の民衆大會後民衆は反英示威行進を行つたが警官はこれに發砲して民衆の間に約百名の負傷者ならびに檢束者を出した

【アッサム州】同州の一刑務所では政治犯が暴動を起し逃亡者七十六名を出した

【シンド地方】英當局の彈壓に抗するフレ族の一團は武裝蜂起して英官憲と衝突、雙方多數の死傷者を出した

獨、モズドクに突入

【ストツクホルム特電】（六日發）モスコー來電モズドク方面に作戰中のドイツ軍先鋒は五日夕刻遂にモズドク市街に突入、目下獨ソ兩軍の間に激烈な市街戰が展開されてゐる

鮮血の流れボルガ

赤軍の水陸兩用戰車も空し

【ベルリン特電】（六日發）獨ソ兩軍最後の死闘を展開しつゝあるスターリングラード攻防戰はドイツ軍の着實なる前進により歩一歩戰闘圈が縮少され、兩軍の砲擊はこれに反比例して益々激化しつゝあり、而も西北地區においてドイツ軍は一防禦線に對し戰車百台、爆擊機一千を集中して強引に壓迫しつゝ歩兵の前進路啓開に成功した、北部地區のソ聯軍は三工場建築物を最大且最後の堡壘としてあらゆる武器を以て必死の防戰に努めて來たが、五日ドイツ戰車部隊はこれに對し空軍の掩護下に突擊を敢行してその一角を奪取、自ら火達磨となつて續々墜落しつゝ手榴彈、火焰放射器を以て壯烈極まる白兵戰を續けてゐる、ソ聯全軍は他の戰線より爆擊機、戰闘機を連日こゝに集中してドイツ軍の進擊を阻止せんと試みつゝあるがドイツ空軍の制空權は依然動かず、ソ聯機は壯絶な攻擊に遭つて撃墜され、ボルガ河を鮮血の流れとつゝあり、なほソ聯軍はスターリングラード、アストラン間のボルガ河水面に水陸兩用の新型戰車を出動せしめ、後方連絡の確保に努めてゐるが、これに對するドイツ爆擊機の攻擊また間斷なく續けられてゐるため、同戰車も相次いで爆沈され、ボルガ河を鮮血の流れと

旭日大綬章を贈與

臧式毅氏ら六氏の榮

【東京電話】畏き邊りでは滿洲國參議府議長臧式毅氏をはじめ同國關係高官六氏に對し日滿兩國親善に盡せる功績少からざるを思召され、七日次の如く勳章贈與の御沙汰あらせられ同日外務省よりそれぞれ傳達の手續をとつた

滿洲國參議府議長　勳一等　臧式毅
同　國務總理大臣　同　[illegible]
同　宮内府大臣　同　張海鵬
同　國務院[illegible]府大臣　同　熙洽
同　國將軍陸軍上將　同　于芷山
同　[illegible]　同　袁金凱
在本邦滿洲國特命全權大使　同　李紹庚
旭日大綬章贈與（各通）

獨空軍、ス市各所を猛爆

【ベルリン六日同盟】獨軍當局の言明によれば、スターリングラード猛攻中の獨軍は五日激戰のうちさらに數ケ所の敵陣地を奪取したこの日獨軍は空軍の有效なる掩護のもとに殘存赤軍に對し大攻勢に出で、さらに赤軍を包圍するに至つた、一方獨空軍は晝夜を分たず重要鐵道地帶にボルガ河東岸の敵飛行場、砲兵陣地に[illegible]を加へた

ス市北部住宅街要塞に侵入

【ストツクホルム特電】（六日發）六日ソ聯側前線情報によればドイツ軍大部隊は遂に六日朝スターリングラード北部市街の住宅要塞地帶に侵入するに至つた

印度問題解決強要

マハサバ黨決議案

【リスボン六日同盟】ニューデリー來電によれば、同地に開會中のヒンヅーマハサバ黨運用委員會は六日全會一致で左の如き決議案を可決した

一、ヒンヅーマハサバ黨はマハサバ系内閣ならびに國民會議派關係者に呼びかけて印度國民政府の樹立を目指して二大民衆運動を展開するやう要請する

新增稅案、米上院審議開始

【ブエノスアイレス六日同盟】ワシントン來電によればアメリカ上院財政委員會委員長ジョージ、ワルダーは五日上院に新増稅案を提出し上院は六日から審議を開始することゝなつた、新增稅案はアメリカ史上未曾有の尨大な增稅案で八十億ドルの增收を目標としたものである

援ソ物資供給

米英ソ議定書調印

【ブエノスアイレス六日同盟】ワシントン來電米國務次官ウエルズ・キャンベル英公使およびソ聯に對し軍需品および資材の供給に關する米英ソ三國議定書に調印した、右議定書は數ケ月前より三國間に實施されてゐる協定を正式に確認したものである

鄭駐泰滿洲國公使赴任

【新京七日同盟】駐泰滿洲國初代特命全權公使鄭禹氏は家族および上村、楊兩理事官を帶同して七日午前十一時三十分發離京東京を經由晴れの赴任の途についた、なほ鄭公使は十一月バンコツク着の豫定

イラク内閣總辭職

【ストツクホルム特電】（六日發）ロンドン經由バグダツド電によればイラクのヌリ・サイド内閣は六日總辭職した、總辭職の理由は國内經濟問題に對する閣僚間の意見の對立とされてゐるが眞相はイラクに對する米英の不法壓力が加重しつゝあることゝドイツ軍のコーカサス作戰の進捗によりイラク國民の反英機運が既に昂まり親英派現内閣に對する一般國民の不滿が增大するに至つた結果遂にヌリ・サイド内閣は總辭職を余儀なくされたものと解される、なほヌリ・サイド首相は後繼内閣成立まで現職に止まる豫定である

土、羅新協定成立

【ベルリン六日同盟】アンカラ來電によればトルコ、ルーマニヤ兩國は今回總額百萬トルコポンドに上る通商保障協定を締結した、同協定によればトルコはルーマニヤに棉花を供給し、ルーマニヤはトルコに對し石油、セルローズなどを供給することになつてゐる

南米の反省求む

【東京電話】米英の在留邦人に對する苛酷なる取扱ひぶりはすでに白日の下に暴露されたが、米國の傀儡に乘る中南米諸國における在留邦人壓迫も言語に絶するものがあるので六日情報局第三部長は外人記者團との會見においてこれが事實を指摘した、すなはち現在中南米諸國における在留邦人はメキシコ約六千名、ペルー約二萬一千名、パナマ三百名、コスタリカ約二十名、サルバドル二名、ニカラグア十名で同部長の談話によればこれら多數の邦人は恰も囚人同樣の最惡の待遇をうけ、所持金は捲きあげられ居住を拒否されるなどの橫暴不當なる取扱ひをうけまさに人道上無視し難きものがある、これらの諸國に對して帝國政府は利益代表國、法王廳、赤十字國際委員會などの機關を通じ嚴重抗議を發するとともにその責任を追求しつゝあるがさらに適當なる措置を講じて強くその反省を求めることを述べ注目された

思想部長に田代保雄氏

【東京電話】翼贊會では石黑錬成局長の事務取扱となつてゐた思想部長に滋賀縣警察部長田代保雄氏を起用することとなり七日附をもつて左の如く發令する

錬成局思想部長　田代保雄
錬成局長　石黑秀彦
兒錬成局思想部長事務取扱

新重慶駐米大使信任狀捧呈

【リスボン六日同盟】ワシントン來電によれば新駐米重慶大使魏道明は六日大統領ルーズベルトに對し信任狀を捧呈

小倉侍從新義州へ

【新義州電話】小倉侍從は七日午前十一時五十分自動車で水豐經由來新、一旦鐵道ホテルに入り晝食ののち道廳にて白石知事以下に謁見營林署を視察ののち自動車で多獅島に向ひ途中不二農場に立寄り午後四時三十分多獅島發同六時宿舍鐵道ホテルに入つた

内務辭令（七日）

【東京電話】
秋田縣總務部長　永野若辰
兼補學務部長
滋賀縣警察部長　田代保雄
依願免本官

消息

◇木田秀夫氏（朝銀大阪駐在理事）七日〝あかつき〟で入城
◇市村清氏（理研重役）七日入城半島ホテル
◇小倉武之助氏（南鮮合電社長）東上中、七日〝大陸〟で歸任
◇水田財務局長　七日午前七時五十分發北鮮視察へ出張、歸任は十二日夜

時の錄音

シドニー特別攻擊隊の四勇士歸還、聲なき凱旋、たゞ頭が下る。

×

敵の手厚き海軍葬は天晴れ武士道の發露かもしれぬ。

×

だが、それは敵誼なるものに對する大いなる感動だ。

×

それほど、四勇士の戰死は壯烈にして、豪快だつたのだ。

×

いま、その忠魂を迎へ、國民は一層奮起せねばならない。

×

内地米第一回收穫豫想六千七百卅餘萬石。力强きかな。

×

だが斷じて樂觀氣分で腹一杯食つてはなるまい。

×

戰時陸運の非常時體制成る。非常時は海上ばかりでないのだ。

×

旅行は遠慮せよ。人より物の輸送だ。